

品目別農業振興方針

米穀・畜産部門

水 稲

【方 針】

米の消費が減退する中で、主食用米の価格や需給を安定すべく、水田活用米穀（備蓄・加工用・輸出用米）や飼料用米の複数年契約に取り組み、有利販売に努めます。

主力品種「まっしぐら」および新品種「はれわたり」は、安定生産と作付拡大に努め、「青天の霹靂」は生産基準の遵守を徹底し、良食味米生産に取り組むことで県産米ブランドの維持を図ります。

【重点事項】

（１） トータル生産コストの削減

- ・ ①直播、疎植や密苗など栽培技術による労働力や生産経費の削減に取り組み、引き続き省力化につながる技術やスマート農業の普及推進に努めます。
- ・ ②当ＪＡ独自の低コスト基肥一発肥料のほか、大型規格や担い手直送規格を推進し、資材コストの削減を図ります。
- ・ ③にしきた型水稻育苗パイプハウスの導入を継続します。

（２） 米の生産、所得の安定化

- ・ ①関係機関と連携し、需給バランスのとれた計画生産に取り組むことで価格の安定化を図ります。
- ・ ②近年の異常気象、特に高温による減収や未熟粒などの品質低下を軽減するため、基本技術の徹底と高温障害対応について、適期講習会の開催や迅速な営農情報の発信による対応を図ります。
- ・ ③つがるロマン後継にあたる新品種「はれわたり」については、今後の作付拡大を見据え、生産技術の向上と需要の獲得に努めます。

(3) 機械、施設の更新ができない農業者を支援

- ・①コンバインや乾燥調製施設などを更新できない生産者に対し、一部の作業を請け負うことで離農者を少なくし営農の永続化を目指します。
- ・②受託作業を通じて担い手との接点を強化し、地域農業の受け皿となる経営体への育成や法人化の推進、受託作業組織の設立を目指します。

大豆・小麦

【方針】

病虫害防除や除草対策を徹底して高品質安定生産に取り組み、有利販売に努めます。

【重点事項】

(1) 高品質安定生産への取り組み

- ・①肥培管理、病虫害や雑草への対応を徹底し、高品質生産を目指します。

畜産

【方針】

畜産農家の所得向上、経営安定を目指します。

【重点事項】

(1) 畜産生産基盤の安定化

- ・①自給飼料増産によるコスト削減を目指します。
- ・②肥育農家の経営悪化を防ぐため、各種事業を通じ経営安定に努めます。
- ・③優良母体の確保による繁殖農家の管理技術向上を図ります。